



私の主張「大好きなバスケットから得たこと」

～伊豆の国市子ども・若者育成支援大会より～

11月26日(土)に、萑山時代劇場にて、伊豆の国市子ども・若者育成支援大会が行われました。「私の主張」では、本校から3年生齋藤穂乃香さんが発表を行いました。たいへん堂々とした姿勢で、気持ちを込めて発表し、本校職員はじめ、場内の人たちを感動させていました。以下、主張文を掲載します。

.....

「大好きなバスケットから得たこと」

3年生 齋藤 さん



小学校の頃から今まで、たくさんのことを乗り越えてきた七人。その七人で、最後の舞台を迎えました。そして、私たち三年生は、入部してからの約2年半の部活動を、この夏に行われた中体連県大会で終えました。

思い起こせば、私たちが入部したことにはもう中体連四連覇、県大会一勝を目指して練習している先輩方の姿がありました。大量の汗をかき、負けたくないという先輩たちの強い思いを

目の当たりにした私たちでした。私たちの二つ年上の先輩は、中体連四連覇という目標は達成しましたが、県大会一勝は達成できませんでした。

暑い夏、待ち受けていたのは辛い練習でした。先輩たちを何度も困らせてきた私たち学年は、この夏も真剣になることができず、そのまま時間が流れていきました。

一つ年上の先輩も、中体連五連覇、県大会一勝を目標に練習に取り組んできましたが、中体連五連覇はできたものの、県大会一勝はできませんでした。

そして自分達が主体となり、後輩を引っ張っていく代になりました。すると、キャプテンを中心に、全員の意識が変わり、「勝利」の二文字に向かって辛い練習を乗り越えていきました。

時は流れ、今年の夏。私は中体連の二週間前にけがをしてしまいました。病院の先生から言われた一言は、「間に合うかどうかはわからない。だけど、間に合わせてあげるよ。」という、少し不安をかかえていた私にとっては、心強い言葉でした。

次の日、学校に行くと、周りの友達が支えてくれました。担任の先生や学年部の先生たちも声をかけてくれたり、優しく接してくれたりしました。今振り返ると、支えてくれたクラスの友達、先生たちがいたから、今の自分があるのだと思います。

私は、今回の中体連にたくさんの思いをもって臨みました。たくさんの迷惑をかけた部活の仲間、日常生活を支えてくれたクラスの友達、いつも声をかけてくれた学年部の先生方に感謝の気持ちを持ち、中学最後の大会、中体連に臨みました。中体連にける思いはとて熱く、そして特別でした。ただ自分の目標である中体連六連覇するのではなく、ただ練習の成果を出すのではなく、自分のできることを全て発揮し、今まで支えてくれた人たちに感謝の気持ちを持ち、中学最後の大会である中体連に臨みました。



けがをして改めて分かったことがあります。それは、友達が1人より2人、2人より3人多い方が、自分が困ったときに助けてくれる人が多く、優しく接してくれる人が多くなるということです。バスケットはチームスポーツです。お互いを尊重し、助け合うことでチームができるということを、私は改めて感じました。



そして迎えた中体連田方地区予選。それぞれのたくさんの思い、目標を胸に臨みました。私たちは準決勝で勝つことができ、決勝に進みました。決勝は、新人戦で負けてしまった相手と戦いました。会場には私がかげをしたときに支えてくれた先生方が応援に来てくれました。私の一つの目標である、「感謝」を胸に戦いました。しかし、試合は思ったよりうまく進まず、点差が広がりませんでした。それでも先生方は心の底から応援してくれました。そして、第四ピリオドの笛が鳴り、4点差で勝つことができました。私たちは心の底から喜びました。

二週間後に行われた県大会では、浜松の中学校と戦いました。小学生の頃から強く、一度も勝ったことがない相手でした。私たちの心に宿った「長中魂」を胸に、最後まで諦めずに戦いました。残念な結果に終わってしまいましたが、悔いを残さずやり抜くことができました。

今回の中体連から、たくさんのことを得ることができたと思います。特に、人に感謝することはどんなに素晴らしいことか、改めて学ぶことができました。けがをしたとき、支えてくれた人に感謝することは、当たり前のことだと思います。ですが、いつも普通に生活を送れることに感謝する人は少ないと思います。自分に家族がいるから普通に生活を送れているのです。そういう人達に感謝の気持ちをもつことが最も大切なことだと思います。中学最後の大会である中体連を通じて、「感謝」について改めて学び直すことができと思います。感謝されて嫌な人はいないと思います。どんな小さなことでも、少しでも自分を支えてくれた人に感謝し、これからも生活していきたいと思います。





主張発表者表彰



立派な司会ぶりの
斉藤さん・松井さん



アクトン・パワフルキッズ

なお、この大会の司会者を2年生の斉藤さん、松井さんが務め、たいへん落ち着いた司会進行を行っていました。立派でした。

※HP 掲載のため名字のみの表示になっています。